



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場会社名 株式会社 シマノ
コード番号 7309 URL <http://www.shimano.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 平田 義弘

TEL 072-223-3254

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	199,501	9.2	31,052	△2.5	35,092	18.5	25,506	24.6
24年12月期第3四半期	182,739	13.1	31,840	40.0	29,605	46.5	20,472	79.3

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 40,419百万円 (76.3%) 24年12月期第3四半期 22,926百万円 (143.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	275.13	—
24年12月期第3四半期	220.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	289,904	249,262	85.7
24年12月期	257,707	216,364	83.7

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 248,404百万円 24年12月期 215,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	37.50	—	37.50	75.00
25年12月期	—	43.50	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	43.50	87.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	7.8	43,000	5.0	47,000	18.9	31,000	12.8	334.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	92,720,000 株	24年12月期	92,720,000 株
25年12月期3Q	14,244 株	24年12月期	13,134 株
25年12月期3Q	92,706,199 株	24年12月期3Q	92,707,367 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。
業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は、欧州景気は依然マイナス成長から脱し切れず減速傾向が続く一方、米国においては政府債務上限に関わる議会承認の遅れから公共サービスが停滞、民間部門の景気回復に水をさしかねない状況となっています。

国内におきましては、いわゆるアベノミクスの効果が徐々にあらわれ始め、3四半期連続で景況感の改善が見られました。また、雇用者所得の持ち直しを受け消費者マインドが改善していることなどを背景に個人消費も増加傾向となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は199,501百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は31,052百万円（前年同期比2.5%減）、経常利益は35,092百万円（前年同期比18.5%増）、四半期純利益は25,506百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

欧州では、7月、8月は好天に恵まれ小売店の販売は昨年比回復基調での推移となったものの、天候に恵まれなかった年初から夏までの遅れを完全に取り戻すには至りませんでした。米国でも年初は天候に恵まれない地域が多かったことから、昨年同時期に比較して苦戦を強いられることとなりました。5月からは小売店における販売は回復基調に転じたものの力強い回復には至りませんでした。日本では、厳しかった冬の影響を受けた年初の低調から脱しきれず小売店販売の動きは低調のままに推移しました。

一方、成長余力のある新興国市場の中でも、とりわけ中国では今年も引き続きスポーツタイプ自転車の販売は好調で力強い成長を続けています。

欧米の完成自転車の市場在庫は高めなものの適正な範囲内で推移しております。補修用の需要については各地で順調な伸びを示しており、世界的なサイクリング活動に対する高い興味を反映しております。

このような市況のもと、当社からの出荷はほぼ予定どおり進み、マウンテンバイクコンポーネントの「DEORE」、「ALTUS」、ロードバイクコンポーネントの「ULTEGRA」、「CLARIS」をはじめとする新製品の販売も順調に推移しました。加えて当社製品に対する欧米市場からの高い支持や円安に恵まれたこともあり、第3四半期の売上は予定どおり達成することができました。

この結果、当セグメントの売上高は159,180百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は29,117百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

② 釣具

国内市場では、北日本においては長雨など悪天候もあり小売市場の動きは芳しくありませんでしたが、北日本を除くその他の地域ではGW以降は天候にも恵まれたこともあり、夏場にかけても釣り人の動きが上向き、小売市場も比較的良好な動きをみせました。当社製品におきましては、ソルトルアー系においてNEWステラSW、新発売電動リールのビーストマスターにおいても好調な販売となりました。

一方、海外市場では欧州・北米ともに天候不順の影響で足許、販売は苦戦を強いられています。しかしながら、中国市場、東南アジア市場では小売店への販売が引き続き堅調に推移しました。豪州においても天候不順の影響が懸念されましたが小売店への販売は引き続き順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は40,039百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は2,043百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は281百万円（前年同期比13.0%減）、営業損失は108百万円（前年同期は営業損失179百万円）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は289,904百万円(前連結会計年度比32,197百万円の増加)となりました。これは、現金及び預金が17,148百万円、建設仮勘定が6,615百万円、商品及び製品が4,452百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は40,642百万円(前連結会計年度比700百万円の減少)となりました。これは、短期借入金が1,797百万円増加し、未払法人税等が2,626百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は249,262百万円(前連結会計年度比32,897百万円の増加)となりました。これは、利益剰余金が17,997百万円、為替換算調整勘定が12,977百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州での政府債務問題は今のところ小康状態にあるものの、今後の展開次第ではイタリアでの政局不安が新たな火種となり域内景気の足を引っばることも懸念されます。米国では、FRB新議長に就任する予定のイエレン氏は引き続きバーナンキ議長の金融緩和策を継承することが予想され、回復途上の個人消費の背中を更にひと押しすることが期待されます。また、景気失速が不安視される中国では構造改革に着手しており、その動向が注目されています。

国内におきましては、輸出が持ち直していることに加え、雇用や設備投資も改善しはじめたことから、今後も引き続き回復が続くものと予想されます。個人消費においては、アベノミクスへの期待がもたらした株価上昇による消費マインドの好転がひと段落しつつあるものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要を期待する向きもあります。

なお、平成25年7月30日に公表いたしました連結業績予想につきましては、これを修正し、通期は売上高265,000百万円、営業利益43,000百万円、経常利益47,000百万円、当期純利益31,000百万円とさせていただきます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、Shimano Nordic Denmark ApS については新規設立により、連結の範囲に含めております。

また、Shimano Europe Retail Division B.V. はBikefitting.com Holding B.V. から社名を変更しております。

当第2四半期連結会計期間において、Shimano (Philippines) Inc. については新規設立により、連結の範囲に含めております。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,950	112,099
受取手形及び売掛金	27,845	24,982
商品及び製品	25,613	30,066
仕掛品	17,209	16,606
原材料及び貯蔵品	5,091	4,890
繰延税金資産	2,232	2,413
その他	3,090	3,698
貸倒引当金	△236	△295
流動資産合計	175,798	194,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,499	25,812
機械装置及び運搬具(純額)	14,493	15,807
土地	11,256	11,429
リース資産(純額)	431	457
建設仮勘定	5,800	12,416
その他(純額)	4,594	4,448
有形固定資産合計	61,076	70,371
無形固定資産		
のれん	3,727	3,852
ソフトウェア	1,916	2,414
その他	3,446	4,582
無形固定資産合計	9,090	10,849
投資その他の資産		
投資有価証券	8,569	11,357
繰延税金資産	1,058	166
その他	2,602	3,173
貸倒引当金	△488	△474
投資その他の資産合計	11,742	14,223
固定資産合計	81,908	95,443
資産合計	257,707	289,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,161	9,934
短期借入金	5,915	7,713
未払法人税等	6,582	3,956
繰延税金負債	222	303
賞与引当金	1,268	2,273
役員賞与引当金	193	132
その他	11,321	11,414
流動負債合計	35,665	35,728
固定負債		
長期借入金	1,070	430
繰延税金負債	742	865
退職給付引当金	2,681	2,786
その他	1,182	831
固定負債合計	5,677	4,913
負債合計	41,342	40,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,822	5,822
利益剰余金	176,808	194,806
自己株式	△47	△56
株主資本合計	218,197	236,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	913	2,703
為替換算調整勘定	△3,462	9,515
その他の包括利益累計額合計	△2,548	12,218
少数株主持分	716	857
純資産合計	216,364	249,262
負債純資産合計	257,707	289,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	182,739	199,501
売上原価	114,692	127,605
売上総利益	68,047	71,896
販売費及び一般管理費	36,206	40,844
営業利益	31,840	31,052
営業外収益		
受取利息	578	661
受取配当金	275	158
為替差益	—	3,293
その他	505	526
営業外収益合計	1,358	4,639
営業外費用		
支払利息	250	241
為替差損	3,040	—
その他	302	357
営業外費用合計	3,593	598
経常利益	29,605	35,092
特別損失		
工場建替関連費用	433	385
特別損失合計	433	385
税金等調整前四半期純利益	29,172	34,706
法人税、住民税及び事業税	9,216	9,092
法人税等調整額	△579	60
法人税等合計	8,636	9,153
少数株主損益調整前四半期純利益	20,536	25,553
少数株主利益	63	47
四半期純利益	20,472	25,506

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,536	25,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	1,789
為替換算調整勘定	2,250	13,075
その他の包括利益合計	2,390	14,865
四半期包括利益	22,926	40,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,870	40,274
少数株主に係る四半期包括利益	56	145

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	146,229	36,186	323	182,739	—	182,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	146,229	36,186	323	182,739	—	182,739
セグメント利益又は損失(△)	29,821	2,198	△179	31,840	—	31,840

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	159,180	40,039	281	199,501	—	199,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	159,180	40,039	281	199,501	—	199,501
セグメント利益又は損失(△)	29,117	2,043	△108	31,052	—	31,052

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。